

曲阜師範大学での生活

国際文化学部国際文化学科 3年

17011042 千葉明里

はじめに

今年度、山口県立大学から二名の学生が曲阜師範大学に派遣された。私たちが留学している曲阜師範大学は孔子の故郷である山東省済寧市曲阜市にある曲阜キャンパスと日照市の日照キャンパスがある。曲阜キャンパスの周辺には三孔と呼ばれる孔府、孔廟、孔林という孔子にゆかりのある世界遺産に登録された建造物がある。

今回のレポートでは、曲阜師範大学に来てすごした一ヶ月間の生活について記す。

1. 中国への入国ルートと中国国内線について

曲阜師範大学から2月27日、28日のどちらかに済南空港に到着するよう言われたため、私たちは2月27日の昼に福岡国際空港から上海浦東空港行きの飛行機に乗って出国し、上海で一泊したあと翌日28日の朝国内線に乗り換えて済南空港へ向かった。私たちは上海で一泊した後国内線に乗り換えたため、受託荷物の重量を国内線に合わせてもっていく必要があった。そのため服やシャンプーなどの現地で買うことのできるものはあまり持っていくことができず、中国に来てから購入した。

2. 寮生活について



曲阜師範大学に留学している留学生は国際文化交流学院の留学生寮で生活している。二人一部屋で多くの場合同じ国籍の人同士で同室になる。今回山口県立大学から二名派遣されたので私たちは同室になったが、私たちより2週間ほど遅れてきた他大学の日本人留学生はロシア人の留学生と同室になっている。

部屋には、エアコン、テレビ、トイレ・シャワー、ベッド、学習机・椅子、クローゼットがある。私たちの部屋にはクローゼットが二つ付いているが、部屋によっては一つしかない部屋もある。各階には自炊できる



共同キッチンがあり、冷蔵庫もある。洗濯は一回に共同の洗濯機があり一回 2 円で使用することができ、屋上には洗濯物を干す場所もある。

3. 授業について

学期の初めに行う筆記と面接によるテストでクラス分けが行われる。クラスは A 班から D 班の四つに分けられており、

	星期一 (Monday)	星期二 (Tuesday)	星期三 (Wednesday)	星期四 (Thursday)	星期五 (Friday)
A班 (Class A)	汉语综合 (综合) (Intermediate Comprehensive Chinese)	汉语综合 (高级) (Advanced Comprehensive Chinese)	汉语口语 (口语) (Intermediate Oral Chinese)	汉语口语 (口语) (Intermediate Oral Chinese)	汉语综合 (综合) (Intermediate Comprehensive Chinese)
B班 (Class B)	汉语综合 (综合) (Intermediate Comprehensive Chinese)	汉语综合 (高级) (Advanced Comprehensive Chinese)	汉语口语 (口语) (Intermediate Oral Chinese)	汉语口语 (口语) (Intermediate Oral Chinese)	汉语综合 (综合) (Intermediate Comprehensive Chinese)
C班 (Class C)	汉语综合 (综合) (Intermediate Comprehensive Chinese)	汉语综合 (高级) (Advanced Comprehensive Chinese)	汉语口语 (口语) (Intermediate Oral Chinese)	汉语口语 (口语) (Intermediate Oral Chinese)	汉语综合 (综合) (Intermediate Comprehensive Chinese)
D班 (Class D)	汉语综合 (综合) (Intermediate Comprehensive Chinese)	汉语综合 (高级) (Advanced Comprehensive Chinese)	汉语口语 (口语) (Intermediate Oral Chinese)	汉语口语 (口语) (Intermediate Oral Chinese)	汉语综合 (综合) (Intermediate Comprehensive Chinese)

私たちはA班の中級中国語クラスで授業を受けている。途中でクラスを変えることもできる。学生はロシア人と韓国人の留学生が多く、クラスの大半がロシアと韓国から来た留学生である。

現在私たちの履修している授業は漢語総合、漢語閲読、漢語口語、漢語聴力、漢語写作、HSK 補導の6科目である。クラスごとでテキストと担当している先生が異なり、A 班の HSK 補導では5級の勉強をしている。

授業は月曜日から金曜日の朝8時から12時までの午前中のみあります。1日に2科目授業があり、1科目2時間で1時間ごと10分程度の休憩がある。

授業は月曜日から金曜日の朝8時から12時までの午前中のみあります。1日に2科目授業があり、1科目2時間で1時間ごと10分程度の休憩がある。

4. 食事・買い物について

食事はいつも食堂を利用している。曲阜師範大学内には学生食堂や教員食堂など多くの食堂がありどこも4元～8元(1元約18円)程度で安く利用することができる。大学の周辺にもご飯を食べるところは多くあり、大学外の飲食店でも20元以下で食事をとることができる。



大学内にはスーパーマーケットもあり、コンビニのような小さい店も多くある。大学の東門を出ると大きなスーパーマーケットがあり、大学周辺で生活用品をそろえることが可能である。

5. 中国の携帯電話と銀行口座について

中国で銀行口座を作るためには中国で使用できる電話番号が必要である。そのため、まずは中国の携帯ショップへ行き SIM カードを買う必要がある。中国の携帯電話は日本と違い SIM カードと携帯電話本体を買う場所が別々に分かれており、大学内には中国移动 (China Mobile) という携帯会社があり、大学周辺には中国联通 (China Unicom)、中国电信 (China Telecom) という携帯会社もある。携帯電話本体が買える店も大学周辺に多い。

日本で SIM フリーのスマートフォンを購入しておくか、事前に SIM ロックを解除しておくか SIM カードを差し替えるだけで使えるようになる。しかし iPhone は問題ない区使用できるが android の端末だと中国の周波数に対応していないものもあり SIM カードを差し替えても使えずスマートフォン本体を買う必要があるものもある。

大学内、大学周辺にはたくさんの銀行があります。よく私たちが利用している東門にも中国建設銀行と中国工商銀行の二つの銀行がある。私たちは中国建設銀行で銀行口座を作った。他の銀行で口座を作る際にはマイナンバーが必要だと言われることもあるが、建設銀行ではパスポートのみで作ることができた。中国の銀行では日本と違い通帳や印鑑はなく、キャッシュカードのみ渡される。

さらに、大学周辺の銀行では日本円を中国の人民元に換金することができず、大学あらず少し離れた中国銀行でしか換金することができなかった。さらに中国銀行で換金する際も中国銀行での口座登録が必要となるため、できる限り日本で人民元を用意しておくか到着した空港内で換金しておく必要がある。

6. 微信支付 (Wechat pay) ・支付宝 (Alipay) について

中国ではキャッシュレス決済が普及しており、携帯で支払うことが多い。食堂やスーパーマーケットでの支払いだけでなく、携帯料金や光熱費、飛行機のチケットなども支払うことができる。

主に使われるのは微信支付と支付宝の二つである。微信支付は日本のデビットカードでも登録をすることができるが、実際に支払いをするためには他の人から送金をしてもらう必要があり手間がかかるため、中国で口座を作ることをすすめる。

微信支付と支付宝の使い方に違いはあまりないが、私の友達の中国人は支付宝を使っている人が多いように感じる。私自身も最初は微信支付を使用していたが、登録をして一週間ほどたった時に急に使えなくなりました。そのため現在は支付宝を使用している。

最後に

中国人と聞くとあまり良い印象が持たれないが、曲阜の人々はとても親切で優しい人が多いように感じた。外を歩いているときに声をかけてくれる近所のおじいさんやおばあさん、食堂やスーパーの従業員、さらに、日本に興味を持っている中国の学生も多く、日本語を話していると声をかけられることが多くある。これは日本ではあまり体験することのできない中国での人とのつながりだと感じた。